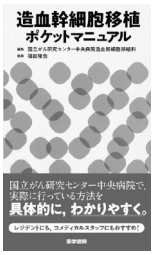
書評

［評者］
豊嶋崇徳
北大教授・血液内科学



造血幹細胞移植ポケットマニュアル

国立がん研究センター中央病院
造血幹細胞移植科　編
福田隆浩　著

● B6 変型・頁 500　2018 年 2 月
定価：本体 4,500 円＋税
[ISBN978-4-260-03160-8]医学書院刊

本書は，わが国の造血幹細胞移植医療をリードする国立がん研究センター中央病院の福田隆浩科長が，移植チームメンバーの協力を得て執筆した実践的なポケット版マニュアルです．造血幹細胞移植医療は他の医療と比べ患者の個別性が高く，また準備から外来フォローまで長期間にわたり，その間さまざまな職種がかかわる，極めて複雑で高度な医療です．そのため，一つの問題を解決するために，さまざまな Web や成書に当たる必要があります．移植の合併症が全身的であり，かつ多岐にわたるのがその理由の一つです．

本書の特徴は，造血幹細胞移植医療の全てがこの一冊に盛り込まれている点にあります．例えば，移植後の高血圧に対して推奨される降圧剤が具体的に用量まで記載されています．つまり，エビデンスがあっても，実際にはどう対応すればいいのか迷う点にまで踏み込んで記載されています．また編成も移植の準備から，入院，外来フォローと経時的な流れになっており，移植にかかわるさまざまな職種の方が各職種の関与する項目の箇所を調べやすいように工夫されています．また，移植を依頼する立場の血液内科医にとっても移植適応，患者さんへの説明，また移植後のフォローと，座右にあって役立つ書となっています．このように対象とする読者が移植医のみならず，さまざまな医療スタッフ，コメディカル，一般血液内科医と多岐にわたるのも本書の特徴です．

造血幹細胞移植は複雑であるが故にエビデンスが少なく，ガイドラインも少ない分野が多くあり，各施設でプラクティスが異なる場合もあります．その点においても本書は標準的な記載がされており，各施設においても参考になるものと思います．本書はポケットサイズのコンパクトな書籍なため携行に便利で，一見簡潔でありながら，実際は相当深みのある内容となっています．本書は臨床現場にあって，移植医療の向上に資するものと確信いたします．

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2018
2026/09/17 13:07:48